

十

延平五日  
平

爵

立業 明治 二月十八日  
次載 明治 年月 日

爵位 顯

爵位 主事

勤務 秘書官

勤務

大臣 具定

秘書課長

勤務 秘書官

次官

延平位 延平五等 浦左 延平家位

官 内 省

延平三年二月六日 官報

裏面白紙





從五位勳五等浦太郎

特旨ヲ以テ位一級被進

從五位勳五等浦太郎

叙正五位

右謹テ奏ス

明治四十三年二月十八日

内

閣

内閣總理大臣侯爵桂太郎



明治四十三年二月十八日

内閣書記官



内閣總理大臣



内閣書記官長



從五位勲五等浦太郎ハ明治二十七年七月内務属出身以來三重縣參事官大分縣德島縣ノ警部長臺灣總督府事務官因參事官三重縣書記官關東都督府警視因府事務官等ニ歴任シ四十年休職トナリタル者ニシテ内務属任官ヲ通算

内閣

シテ在職十一年餘從始職務勵精切實斯カラズ特ニ三十八年戰役中ニ關東州民政署警視ニ就任シ警務課長トシテ戰後匪徒ヲ討攘シ良民ヲ保護シ祖傳地ニ於ケル我々警察ノ基ヲ定メタルノ切實顯著ナル者ニ有之候處目下病氣危篤ノ趣ニ付在職中ノ切實録ヲ以テ此際特旨ヲ以テ位一級可被進旨上奏相成然ルヘシ

めくられず



後五位勲五等浦太郎ハ明治二十七年七月内務属出身以来三重縣参事官大分縣德島縣、警務部長臺灣巡警府参事官内務省官三重縣書記官關東都督府参事親日府参事官等ニ歴任シ明治四十年仕職トナリタル者ニシテ左職十一年餘終始職務励精切實ナカラズ特ニ明治三十八年戦役中ニ關東州民政署参事視ニ就任シ警務課長トシテ

關東都督府

戦役戦後匪徒ヲ討攘シ良民ヲ保護シ租借地ニ於ケル我カ利益ヲ察シ基ヲ定メタル切實顯著ナル者有之假處目下病氣危篤ノ趣ニ自在職中ノ切ヲ録セラレ此際敍位ノ恩典ニ浴セシメラレ假様御許儀相成度共段及上稟請候也

明治四十三年二月十七日

關東都督府参事大島敦吉

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿





一從五位勲五等浦太郎叙位尊請書

右及進達候也

明治四十三年二月十七日

外務大臣伯耆守村壽太郎



内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

外務省